

定住自立圏共生ビジョンKPI効果検証（一覧）

資料 4

2 生活機能の強化に係る政策分野

政策分野	連携事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(令和元年度)	実績					目標値	進捗状況
				R3	R4	R5	R6	R7		
(1) 医療	准看護学校補助事業	沼田准看護学校の入学者数	24人	26人	15人				24人	B
		卒業者の医療事業への従事者数	50% (進学50%)	80%	68%				50% (進学50%)	A
	第2次救急医療体制の維持及び確保	参加医療機関数	7	7	7				7	A
		救急患者対応数	17,283	14,744	18,211				17,283	A
(2) 福祉	地域子育て支援拠点事業	利用者数	24,805人	12,576人	11,490人				24,805人	C
	ファミリー・サポート・センター事業	利用人数	446人/年	266人	229人				446人/年	C
	利根沼田障害者相談支援センター運営事業	相談支援人数	3,820件	5,427件	4,488件				3,820件	A
	あおぞら作業所運営事業	通所者数(延通所者数)	1,950人	1,785人	1,573人				1,950人	A
(3) 教育	利根沼田学校組合立高等学校運営事業	卒業生数	136人	147人	138人				150人	A
	歴史資料展示施設の相互(広域)利用事業	企画展開催日数	178日	320日	275日				202日	A
		観覧者数	9,274人	4,142人	4,020人				10,210人	C
	図書館及び図書室の相互利用事業	自治体外住民の利用者数	12,000人	12,056人	12,207人				13,000人	A
		自治体外住民への貸出数	50,000冊	58,108冊	62,211冊				55,000冊	A
スポーツ施設の相互利用事業	施設利用者数	209,963人(基準年度令和3年度)	137,064人	237,902人				214,189人	A	
(4) 産業振興	広域観光事業	圏域共同PRイベントの実施	4回	2回	8回				4回	A
(5) 環境・衛生	処理施設の集約化	利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会開催日数	3日	4日	4日				3日	A
	火葬場の集約化	連携のための検討会議開催回数	年1回	0回	0回				年1回	D
(6) その他	テラス沼田「トレーニングプラザ」の広域利用事業	トレーニングプラザ月会員数	273人	314人	335人				500人	B
		トレーニングプラザ年間利用回数	35,807人	27,449人	34,151人				70,000人	C
	消費生活センター運営事業	相談解決率	97%	99.7%	99.8%				100%	A

3 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

政策分野	連携事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(令和元年度時)	実績					目標値	進捗状況
				R3	R4	R5	R6	R7		
(1) 地域公共交通	地域公共交通対策事業	公共交通の年間利用者数	97,350人	103,893人	96,232人				106,000人	A
		担当者会議の開催	0回/年	0回	1回				1回/年	A
(2) 交流移住	移住・定住促進事業	圏域合同移住イベント開催回数※オンライン含む	0回	1回	1回				5回	D
		移住者数	51人	113人	109人				50人	A

4 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

政策分野	連携事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(令和元年度時)	実績					目標値	進捗状況
				R3	R4	R5	R6	R7		
(1) 人材の育成	合同研修事業	研修実施回数	0回	0回	1回				3回	C
		交流研修参加職員数	0人	0人	51人				285人	D

政策分野	(1) 医療
連携目標	① 地域医療の連携強化
連携事業	1 准看護学校補助事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	利根沼田地区の看護教育機関として、地域住民に貢献する准看護師を養成するため、圏域内自治体の5市町村で一般社団法人沼田利根医師会沼田准看護学校の運営費の一部を補助する。
------	---



(指標1) 沼田准看護学校の入学者数	現状値 R元年度	24人	目標値 R7年度	24人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
沼田准看護学校の入学者数	26人	15人		

目標の達成度 108.3% 62.5%

進捗状況	やや順調
------	------

(指標2) 卒業生の医療事業への従事者数	現状値 R元年度	50%	目標値 R7年度	50%
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
沼田准看護学校の卒業生数	20人	19人		
卒業生の医療事業への従事者数	16人	13人		
卒業生の医療事業への従事率	80%	68%		

目標の達成度 160.0% 136.8%

進捗状況	順調
------	----

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	2,052 千円	2,052 千円	2,052 千円	2,052 千円	2,052 千円
実績（沼田市）	905 千円	905 千円			
実績（片品村）	81 千円	81 千円			
実績（川場村）	72 千円	72 千円			
実績（昭和村）	105 千円	104 千円			
実績（みなかみ町）	192 千円	192 千円			
実績	1,355 千円	1,354 千円	千円	千円	千円
差額	-697 千円	-698 千円			

◎「一般社団法人沼田利根医師会沼田准看護学校」について

修学年限2年、1学年24人の少人数制で、生徒の多くは働きながら准看護師の資格取得をめざし勉学に励んでいる、卒業生の多くは地元医療機関への就職の他、看護師資格を得るため進学する生徒も多い。昭和31年4月に開校して以来、現在まで多くの卒業生を輩出し、地域医療の向上に貢献している。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	卒業生の8割が医療事業へ従事し、地域医療サービス向上に貢献している。	前年度と比較すると医療事業への従事率が減少した。進学率は16%。進学者が当地域に戻り、医療事業に貢献することは考えられる。			
「来年度」以降の取組予定	事業運営費の補助を行い、修学環境の整備・向上を図る。	事業運営費の補助を行い、修学環境の整備・向上を図る。			

政策分野	(1) 医療
連携目標	① 地域医療の連携強化
連携事業	2 第2次救急医療体制の維持及び確保

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	入院治療を必要とする重症の救急患者に対応するため、病院群輪番制による第2次救急医療体制の整備・運営費の一部を補助する。
------	---



(指標1) 参加医療機関数		現状値 R元年度	7	目標値 R7年度	7
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
参加医療機関数	7	7			

目標の達成度 100.0% 100.0%

進捗状況	順調
------	----

(指標2) 救急患者対応数 [延べ数]		現状値 R元年度	17,283件	目標値 R7年度	17,283件
医療機関名	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田病院	1,130件	1,046件			
利根中央病院	7,790件	8,854件			
群馬パース病院	273件	147件			
内田病院	60件	60件			
沼田脳神経外科	4,045件	6,444件			
月夜野病院	1,436件	1,650件			
上牧温泉病院	10件	10件			

救急患者対応数（合計）	14,744件	18,211件	件	件	件
-------------	---------	---------	---	---	---

目標の達成度[%] 85% 105%

進捗状況	順調
------	----

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	11,383 千円	11,383 千円	11,383 千円	11,383 千円	11,383 千円
実績（沼田市）	6,643 千円	6,678 千円			
実績（片品村）	599 千円	704 千円			
実績（川場村）	497 千円	512 千円			
実績（昭和村）	1,003 千円	1,025 千円			
実績（みなかみ町）	2,641 千円	2,533 千円			
実績	11,383 千円	11,452 千円	千円	千円	千円

差額 0千円 69千円

◎「病院群輪番制による第2次救急医療体制」について

救急車による直接搬送、又はかかりつけの診療所など初期救急医療機関から転送されてくる重症救急患者に対応するため、休日や夜間に対応できる病院が日を決めて順番に輪番制で対応する制度、これにより重症患者の迅速な受け入れが可能となり救急医療体制の確保が図られる。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	救急医療受け入れ体制が整備され、入院治療を必要とする重症の救急患者に対応し地域医療の向上が図れた。	昨年度と同様に、救急医療受け入れ体制が整備され、入院治療を必要とする重症の救急患者に対応し地域医療の向上が図れた。			
「来年度」以降の取組予定	救急医療体制整備のため、病院群輪番制の運営を補助し、体制の整備・維持を図る。	引き続き救急医療体制整備のため、病院群輪番制の運営を補助し、体制の整備・維持を図る。			

政策分野	(2) 福祉
連携目標	① 子育て支援の充実
連携事業	1 地域子育て支援拠点事業

連携自治体	沼田市 ○	片品村 ○	川場村	昭和村	みなかみ町
-------	----------	----------	-----	-----	-------

事業内容	圏域内の子育て支援の充実を図るため、別表第1に定める地域子育て支援拠点の広域利用を図る。
------	--



(指標1) 利用者数 [延べ数]		現状値 R元年度	24,805人	目標値 R7年度	24,805人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
子ども広場	10,106人	9,272人			
チャイルドハウスめぐみ	1,327人	836人			
沼田幼稚園子育て支援センター	1,143人	1,382人			
利用者数 (合計)	12,576人	11,490人			

目標の達成度 50.7% 46.3%

進捗状況	やや遅れ
------	------

事業費		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	25,938 千円	25,938 千円	25,938 千円	25,938 千円	25,938 千円	25,938 千円
実績 (沼田市)	26,344 千円	26,344 千円				
実績 (片品村)	—	—				
実績 (川場村)	—	—				

実績（昭和村）	—	—			
実績（みなかみ町）	—	—			
実績	26,344 千円	26,344 千円	千円	千円	千円

差額 406 千円 406 千円

◎ 「子育て支援拠点」について

小学校就学前の子どもとその保護者を対象に、遊んだり、交流するスペースを提供したり、子育て相談や子育て情報の提供などを行う事業を「沼田めぐみこども園 チャイルドハウスめぐみ」「沼田幼稚園子育て支援センター」「子ども広場」の3ヶ所に委託して実施しているもの。居住地に関わらず、利用登録をすれば、無料で利用できる。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、電話相談のみ実施したり、利用者を予約制にする等、事業の実施方法を工夫した。	利用者が前年より減少したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、年間を通じ、予約制を継続する等安心して利用してもらえることも重視し、実施方法を工夫して事業を実施した。			
「来年度」以降の取組予定	新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、絵本の読み聞かせや親子ピクス等体験プログラムを多く実施できるように促していきたい。	絵本の読み聞かせや親子ピクス等体験プログラムの実施も増えてきたので、必要な感染対策等は継続しながらも、より多く実施できるように促していきたい。			

政策分野	(2) 福祉
連携目標	① 子育て支援の充実
連携事業	2 ファミリー・サポート・センター事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○			

事業内容	圏域内の子育て支援の充実を図るため、ファミリー・サポート・センター事業を圏域内の住民を対象に実施する。
------	---

(指標1) 利用者数 [延べ数]	現状値 R元年度	446人	目標値 R7年度	446人	
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
利用人数	266人	229人			
目標の達成度	59.6%	51.3%			

進捗状況	やや遅れ
------	------

事業費	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	3,660 千円	3,660 千円	3,660 千円	3,660 千円	3,660 千円
実績 (沼田市)	3,660 千円	3,660 千円			
実績 (片品村)	—	—			
実績 (川場村)	—	—			
実績 (昭和村)	—	—			
実績 (みなかみ町)	—	—			
実績	3,660 千円	3,660 千円	千円	千円	千円
差額	0千円	0千円			

◎ 「ファミリー・サポート・センター」について

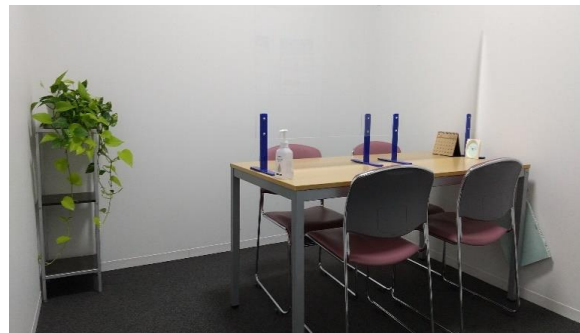
「子育てを手伝ってほしい人（お願い会員）」と「子育てを手伝いたい人（まかせて会員）」が会員になって、一時的な子どもの世話を有料で行うシステムを「NPO法人 尾瀬なでしこの会」に委託して実施しているもの。お願い会員は、生後3ヶ月から小学校6年生までの子どもの保護者で市内在住・在勤の者、まかせて会員は、市内在住・在勤で自宅などで子どもを預かれる者。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まった令和2年度の実績から比べると徐々に利用者が増えてきたものの、感染を心配して利用が伸び悩んだ。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、利用を控える傾向が続き、前年より利用者数が減少した。			
「来年度」以降の取組予定	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、会員のスキルアップ講座を積極的に開催するように促していきたい。	新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、改めて事業の周知を図るとともに、会員のスキルアップ講座を積極的に開催したい。			

政策分野	(2) 福祉
連携目標	② 障がい者福祉の推進
連携事業	1 利根沼田障害者相談支援センター運営事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内の障害のある人の自立した日常生活及び社会生活を支援するため、情報の提供や権利擁護の支援を行う利根沼田障害者相談支援センターを設置し、地域生活支援事業を実施する。
------	---



(指標1) 相談支援人数 [延べ数]	現状値		目標値		
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談支援人数 (沼田市の方)	3,701人	2,970人	3,820人		
相談支援人数 (片品村の方)	99人	105人			
相談支援人数 (川場村の方)	170人	118人			
相談支援人数 (昭和村の方)	478人	238人			
相談支援人数 (みなかみ町の方)	979人	1,057人			
相談支援人数 (合計)	5,427人	4,488人	人	人	人

目標の達成度 142.1% 117.5%

進捗状況	順調
------	----

事業費	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	26,962 千円	26,962 千円	26,962 千円	26,962 千円	26,962 千円
実績 (沼田市)	14,734 千円	14,734 千円			

実績（片品村）	1,858 千円	1,858 千円			
実績（川場村）	1,501 千円	1,501 千円			
実績（昭和村）	2,697 千円	2,697 千円			
実績（みなかみ町）	6,172 千円	6,172 千円			
実績	26,962 千円	26,962 千円	千円	千円	千円

差額 0千円 0千円

◎「利根沼田障害者相談支援センター」について

障害のある人、保護者、支援者などからの相談に応じ、福祉サービスの利用や生活上の様々な相談、権利擁護のために必要な支援をおこなっている。利根沼田5市町村で共同でセンターを設置している（テラス沼田6階）。

事業形態は委託事業で、各市町村がそれぞれ同一の社会福祉法人と委託契約を締結。委託総額の10%を平均割とし、90%を人口割として按分で負担している。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	コロナ禍ではあったが、目標値に近い相談者があった。相談支援専門員の質の向上を目指していきたい。	コロナ禍ではあったが、目標値を超える相談があった。今後は相談支援専門員の質の向上を目指したい。			
「来年度」以降の取組予定	引き続き、5市町村の共同で設置・運営をおこなっていく。	引き続き、5市町村の共同での設置・運営をおこなっていく。			

政策分野	(2) 福祉
連携目標	② 障がい者福祉の推進
連携事業	2 あおぞら作業所運営事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内の障害のある人等に創作的活動又は生産活動の機会を提供するとともに、社会との交流を促進するため、地域活動支援センターを設置、運営する。
------	---



(指標1) 通所者数 [延べ数]		現状値 R元年度	1,950人	目標値 R7年度	1,950人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
通所者数 (沼田市の方)	1,247人	1,338人			
通所者数 (片品村の方)	192人	8人			
通所者数 (川場村の方)	0人	0人			
通所者数 (昭和村の方)	109人	2人			
通所者数 (みなかみ町の方)	237人	225人			
通所者数 (合計)	1,785人	1,573人	人	人	人

目標の達成度 91.5% 80.7%

進捗状況	順調
------	----

事業費		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込		12,167 千円	12,167 千円	12,167 千円	12,167 千円	12,167 千円
実績 (沼田市)		6,465 千円	6,758 千円			

実績（片品村）	1,000 千円	604 千円			
実績（川場村）	577 千円	578 千円			
実績（昭和村）	1,615 千円	1,550 千円			
実績（みなかみ町）	2,510 千円	2,677 千円			
実績	12,167 千円	12,167 千円	千円	千円	千円

差額

0千円

0千円

◎「あおぞら作業所」について

地域生活支援事業の一つである地域活動支援センターとして、テラス沼田1階に設置。精神障害のある人に創作的活動、生産活動の機会・場を通所により提供している。
あおぞら作業所は、平成19年度から利根沼田5市町村による共同設置で、沼田市が主体となり、NPO法人に委託し、各町村から負担金を徴収し事業を実施している。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	コロナ禍ではあったが、目標値に近い利用者があった。サービスの質の向上を目指していきたい。	コロナ禍であり、通所者数は大きく減少した。利用者数の増加とサービスの質の向上を図りたい。			
「来年度」以降の取組予定	引き続き、5市町村の共同で設置・運営をおこなっていく。	引き続き、5市町村の共同で設置・運営を図っていく。			

政策分野	(3) 教育
連携目標	① 教育環境の整備・充実
連携事業	1 利根沼田学校組合立高等学校運営事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内において高等教育を受ける環境を整備し、地域社会を支える人材を育成するため、利根沼田学校組合立利根商業高等学校に対し運営支援を行う。
------	--



(指標1) 卒業生数		現状値 R元年度	136人	目標値 R7年度	150人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
卒業生数	147人	138人			

目標の達成度 98.0% 92.0%

進捗状況	順調
------	----

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	3,580 千円	3,580 千円	3,580 千円	3,580 千円	3,580 千円
実績 (沼田市)	1,310 千円	1,470 千円			
実績 (片品村)	60 千円	20 千円			
実績 (川場村)	130 千円	110 千円			
実績 (昭和村)	260 千円	170 千円			
実績 (みなかみ町)	1,620 千円	1,580 千円			

実績	3,380 千円	3,350 千円	千円	千円	千円
差額	-200 千円	-230 千円			

◎「利根沼田学校組合立高等学校」について

昭和33年、利根郡市町村長会において学校法人として設立することが満場一致で可決され開校となった高等学校。その後、昭和47年に利根沼田9市町村連名にて、一部事務組合設立認可を県知事に申請、利根沼田学校組合が認可され、昭和48年に「利根沼田学校組合立利根商業高等学校」として設立認可された。平成29年4月には、普通科も新設されている。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	負担金により高等学校の運営支援を行い、地域社会を支える人材育成に資することができた。	負担金により高等学校の運営支援を行い、地域社会を支える人材育成に資することができた。			
「来年度」以降の取組予定	高校再編の県の動向を注視しながら、事業内容を検討していく。	高校再編の県の動向を注視しながら、事業内容を検討していく。			

政策分野	(3) 教育
連携目標	② 文化財保存・活用の推進
連携事業	1 歴史資料展示施設の相互（広域）利用事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	文化財への住民理解と保護意識の向上のため、別表第2に定める施設において、圏域内の文化財（展示資料）等の相互貸借や講演会、講習会、研究会、体験学習等を連携して開催する。
------	---



(指標1) 企画展開催日数		現状値 R元年度	178日	目標値 R7年度	202日
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田市歴史資料館	200日	215日			
川場村歴史民俗資料館	0日	0日			
昭和村公民館展示室	0日	0日			
みなかみ町月夜野郷土歴史資料館	60日	60日			
みなかみ町水上歴史民俗資料館	60日	0日			
企画展開催日数（合計）	320日	275日			

目標の達成度 158.4% 136.1%

進捗状況	順調
------	----

(指標2) 観覧者数 [延べ数]		現状値 R元年度	9,274人	目標値 R7年度	10,210人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田市歴史資料館	3,928人	3,726人			
川場村歴史民俗資料館	0人	0人			
昭和村公民館展示室	0人	0人			
みなかみ町月夜野郷土歴史資料館	214人	269人			
みなかみ町水上歴史民俗資料館	-	25人			
観覧者数 (合計)	4,142人	4,020人			

目標の達成度 40.6% 39.4%

進捗状況	やや遅れ
------	------

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	12,486 千円	8,985 千円	8,985 千円	8,985 千円	8,985 千円
実績 (沼田市)	8,802 千円	7,262 千円			
実績 (片品村)	-	-			
実績 (川場村)	-	-			
実績 (昭和村)	1,056 千円	402 千円			
実績 (みなかみ町)	4,132 千円	2,020 千円			
実績	13,990 千円	9,684 千円	千円	千円	千円
差額	1,504 千円	699 千円			

◎「歴史資料展示施設」について

観覧者に地域の歴史を理解してもらうため、貴重な歴史資料を収集・保存、展示することにより、地域文化の継承と活用を図る。
常設展示と企画展示、子ども体験教室や古文書講座などの実施。(沼田市)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	利根沼田に共通する絹遺産をテーマに、ぐんま絹遺産ガイドに掲載されているものを中心に各市町村を分けて展示した。 (沼田市)	利根沼田に共通する縄文時代をテーマに、縄文時代の資料を中心に各市町村を分けて展示した。 (沼田市)			
「来年度」以降の取組予定	利根沼田に共通する歴史遺産をテーマに、企画展示を開催する。 (沼田市)	利根沼田に共通する歴史遺産をテーマに、企画展示を開催する。 (沼田市)			

政策分野	(3) 教育
連携目標	③ 図書サービスの充実
連携事業	1 図書館及び図書室の相互利用事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内における読書活動等の推進と利便性向上のため、別表第3に定める図書館及び図書室の相互利用等、広域的な利活用を推進する。
------	---



(指標1) 自治体外住民の利用者登録の数		現状値 R元年度	12,000人	目標値 R7年度	13,000人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田市立図書館	11,997人	12,155人			
片品村中央公民館図書室	—	—			
川場村文化会館図書室	58人	52人			
昭和村公民館図書室	1人	0人			
みなかみ町中央公民館図書室	—	—			
みなかみ町水上公民館図書室	—	—			
みなかみ町新治公民館図書室	—	—			
みなかみ町カルチャーセンター児童図書室	—	—			
自治体外住民の利用者数(合計)	12,056人	12,207人			

目標の達成度 92.7% 93.9%

進捗状況	順調
------	----

(指標2) 自治体外住民への貸出数 [延べ数]		現状値 R元年度	50,000冊	目標値 R7年度	55,000冊
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田市立図書館	57,950冊	62,150冊			
片品村中央公民館図書室	—	—			
川場村文化会館図書室	146冊	61冊			
昭和村公民館図書室	12冊	0冊			
みなかみ町中央公民館図書室	—	—			
みなかみ町水上公民館図書室	—	—			
みなかみ町新治公民館図書室	—	—			
みなかみ町カルチャーセンター児童図書室	—	—			
自治体外住民への貸出数 (合計)	58,108冊	62,211冊			

目標の達成度 105.7% 113.1%

進捗状況	順調
------	----

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	64,352 千円	64,352 千円	64,352 千円	64,352 千円	64,352 千円
実績 (沼田市)	17,868 千円	17,745 千円			
実績 (片品村)	361 千円	369 千円			
実績 (川場村)	5,900 千円	130 千円			
実績 (昭和村)	303 千円	297 千円			
実績 (みなかみ町)	—	—			
実績	24,432 千円	18,541 千円	千円	千円	千円

差額 -39,920 千円 -45,811 千円

◎ 「図書サービスの相互利用事業」について

沼田市立図書館では、沼田市在住・在学・在勤の人及び利根郡内在住の人を対象として、利用者の登録を行っており、圏域内においては、相互に利用できる図書室もある。また、図書館及び図書室における相互貸借により、本の貸出も行っている。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	従来から利根郡内居住者の利用者登録が可能であり、図書館サービスの提供を行っている。 (沼田市)	圏域内の住民については、市民と同様に利用者登録を行うことにより、図書資料等の貸出を行っている。 (沼田市)			
「来年度」以降の取組予定	引き続き、利根郡内居住者の利用者登録及び図書館サービスの提供を行う。 (沼田市)	市民及び圏域内住民の利用者登録を推進するとともに、利用者サービスの充実に努める。 (沼田市)			

政策分野	(3) 教育
連携目標	④ 生涯学習・スポーツ活動の推進
連携事業	1 スポーツ施設の相互利用事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内住民が、スポーツを通じて健康の増進と体位の向上を図るため、別表第4に定めるスポーツ施設の相互利用等、広域的な利活用を推進する。
------	--



(指標1) 施設利用者数 [延べ数]	現状値 R3年度	209,963人	目標値 R7年度	214,189人	
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
沼田市民体育館	23,375人	51,219人			
運動公園 野球場	6,952人	10,811人			
運動公園 陸上競技場	5,969人	16,774人			
運動公園 補助競技場	4,075人	7,229人			
運動公園 市民プール	0人	7,727人			
利南運動公園 野球場	5,370人	12,822人			
利南運動公園 テニスコート	9,324人	15,496人			
沼田市武道館	6,171人	28,361人			
利根柔剣道場	1,936人	5,068人			
利根園原ふれあい屋内運動場	4,210人	6,727人			
利根農業者トレーニングセンター	3,730人	4,606人			
旧利南中学校運動広場 多目的広場	6,610人	9,565人			
川田運動広場 多目的広場	5,884人	8,562人			
川田運動広場 テニスコート	35人	482人			

川田運動広場 ゲートボール場	2,610人	5,179人		
ニュースポーツ広場 グラウンド(ターゲットボード)ゴルフコース	200人	752人		
ニュースポーツ広場 ゲートボール場	786人	792人		
白沢農民広場	4,779人	5,037人		
利根平川運動広場	1,160人	1,500人		
利根老神多目的広場	1,876人	1,985人		
利根菌原球技場	582人	311人		
利根南部山村広場	1,430人	1,500人		
利根南部山村広場テニスコート	2,512人	3,055人		
白沢弓道場	1,839人	2,521人		
利根トレーニングハウス	3,638人	3,452人		
片品村民運動場	1,400人	700人		
片品村弓道場	33人	348人		
片品村東小川体育館	2,637人	3,880人		
片品村土出グラウンド	0人	0人		
片品村土出体育館	0人	0人		
片品村花咲グラウンド	0人	0人		
片品村武尊根体育館	2,200人	2,485人		
川場村サッカー場	0人	-		
太郎運動広場	0人	-		
川場村テニスコート	0人	-		
川場村屋内ゲートボール場	872人	1,392人		
川場村武道館(柔道場・剣道場)	1342人	2,114人		
川場村弓道場	16人	96人		
スポーツジム	1,855人	3,697人		
昭和村総合運動公園 多目的グラウンド	0人	0人		
昭和村総合運動公園 野球場	0人	5人		
昭和村総合運動公園 テニスコート	0人	5人		
昭和村総合運動公園 ターゲットボードゴルフ場	0人	3人		
昭和村総合運動公園 グラウンドゴルフ場	0人	0人		
ふれあいグリーンパーク	0人	0人		

昭和村社会体育館	18人	73人		
昭和村多目的屋内運動場	17人	108人		
昭和村弓道場	0人	0人		
みなかみ町月夜野総合グラウンド 野球場	1,965人	484人		
みなかみ町月夜野総合グラウンド サッカー場	4,757人	3,889人		
みなかみ町月夜野総合グラウンド バードゴルフ場	6,177人	75人		
月夜野緑地施設内運動広場 緑地広場ホッケー場	4,715人	1,695人		
総合体育館 アリーナ	3,476人	3,337人		
総合体育館 トレーニング室	1,056人	1,411人		
総合体育館 柔道場	1,334人	572人		
総合体育館 剣道場	-	-		
みなかみ町月夜野多目的広場 グラウンドゴルフ	371人	0人		

施設利用者数（合計） 137,064人 237,902人

目標の達成度 64.0% 111.1%

進捗状況 順調

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	197,625 千円	203,874 千円	205,241 千円	206,622 千円	208,017 千円
実績（沼田市）	70,238 千円	95,255 千円			
実績（片品村）	13,480 千円	17,342 千円			
実績（川場村）	11,500 千円	11,210 千円			
実績（昭和村）	58,195 千円	21,071 千円			
実績（みなかみ町）	29,741 千円	29,747 千円			
実績	183,154 千円	174,625 千円	千円	千円	千円

差額 -14,471 千円 -29,249 千円

◎「スポーツ施設の相互利用」について

圏域内のスポーツの振興を図るため、中心市である沼田市と連携町村である片品村、川場村、昭和村及びみなかみ町が設置するスポーツ施設について、住民の相互利用を推進するもの。相互利用の際、利用者は、施設の所在する市、町又は村の住民と同額の使用料で施設を利用でき、本来支払うべき使用料（市外料金等）との差額については、利用者が在住する市町村が負担する。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	<p>主にZACROSアリーナぬまた(沼田市民体育館)及びクライムテニスコートぬまた(利南運動公園テニスコート)において他町村民の利用を受け入れたほか、町村スポーツ施設における沼田市民の利用も確認された。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による施設の利用制限等がありながらも相互利用の取組が認知され始めた。 (沼田市)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による施設の利用制限を解除し、通年で利用を再開した。</p> <p>ZACROSアリーナぬまた(沼田市民体育館)、クライムテニスコートぬまた(利南運動公園テニスコート)、サンワ沼田武道館(沼田市武道館)において町村の利用者を受け入れた。 (沼田市)</p>			
「来年度」以降の取組予定	<p>継続して取組の認知度向上と利用促進を図る。</p>	<p>継続して取組の認知度向上と利用促進を図る。</p>			

政策分野	(4) 産業振興
連携目標	① 広域観光体制の充実
連携事業	1 広域観光事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域全体の観光PR活動や周遊観光の推進、国内外の旅行者獲得等を図るため、圏域自治体、観光協会及び観光事業に携わる各主体などにより広域観光振興体制を整備し、連携して事業を推進する。
------	---



(指標1) 圏域共同PRイベントの実施	現状値 R元年度	4回	目標値 R7年度	4回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
圏域共同PRイベントの実施	2回	8回		

目標の達成度 50.0% 200.0%

進捗状況	順調
------	----

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	183,227 千円	183,227 千円	183,227 千円	183,227 千円	183,227 千円
実績 (沼田市)	37,476 千円	47,394 千円			
実績 (片品村)	12 千円	49 千円			
実績 (川場村)	8 千円	33 千円			
実績 (昭和村)	312 千円	222 千円			
実績 (みなかみ町)	4,447 千円	5,234 千円			
実績	42,255 千円	52,932 千円	千円	千円	千円

差額 -140,972 千円 -130,295 千円

◎「広域観光事業」について

利根沼田振興局、利根沼田管内観光協会と連携を行い、おもてなしイベントの開催や出展で利根沼田観光PRを行っている。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	<p>合同事業として4月、SL運行に併せてみなかみ駅においておもてなしイベントを実施。 7月、ららん藤岡においてブース出展しPRイベントを実施。新型コロナウイルス感染拡大のため例年より規模縮小して実施。</p>	<p>合同事業として4月～10月にかけてSL運行に併せてみなかみ駅においておもてなしイベントを実施。11月に上毛高原駅にて40周年感謝祭イベントを実施。 7月にららん藤岡、1月に太田強戸PAにおいてブース出展しPRイベントを実施。</p>			
「来年度」以降の取組予定	<p>コロナによるイベント自粛していたが回数を増やし、またターゲット層を意識したプロモーション等を展開する。</p>	<p>R4年度と同等数のイベント参加でPR活動を行う。 更にターゲット層を意識したプロモーションを展開する。</p>			

調査票 1 2

事業進捗：A

政策分野	(5) 環境・衛生
連携目標	① ごみ処理施設等の広域利用
連携事業	1 処理施設の集約化

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内住民の環境衛生の向上と施設の効率化を図るため、圏域自治体により協議、検討を行い、ゴミ処理施設の集約化を図る。
------	---

(指標 1) 利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会開催日数	現状値 R元年度	3日	目標値 R7年度	3日
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
広域化協議会開催日数	4日	4日		

目標の達成度 133.3% 133.3%

進捗状況	順調
------	----

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込			5,000 千円	5,000 千円	10,000 千円
実績 (沼田市)	318千円	551 千円			
実績 (片品村)	318千円	551 千円			
実績 (川場村)	318千円	551 千円			
実績 (昭和村)	318千円	551 千円			
実績 (みなかみ町)	318千円	551 千円			
実績	1,590 千円	2,755 千円	千円	千円	千円

差額 1,590 千円 2,755 千円

◎ 「ごみ処理施設等」について

現在、圏域内に沼田市外二箇村清掃工場（所在地：沼田市白岩町226番地）及び上川田最終処分場（所在地：沼田市上川田町日影地内）、尾瀬クリーンセンター（所在地：利根郡片品村大字菅沼251番地10）、奥利根アメニティパーク（所在地：利根郡みなかみ町布施2806-1）、みなかみ町資源リサイクルセンター（所在地：利根郡みなかみ町西峰須川258-5）の5施設がある。
このごみ処理施設の集約化に向け協議・検討中。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	広域化に向け協議会を定期的に開催することができた。また、担当職員によるワーキンググループを設置し、計6回の会議により各市町村間の認識を共有することができた。	広域化協議会を定期的に開催することができた。また、5市町村間において「一般廃棄物処理広域化に関する基本合意書」及び「一般廃棄物処理広域化に関する協定書」を締結し広域化処理を本格的に推進することとなった。			
「来年度」以降の取組予定	各市町村担当者が常勤等により組織するプロジェクト・チームを設立し、ごみ処理施設の広域化に向け、より一層の事業推進を図る。	「一般廃棄物処理広域化に関する基本合意書」に基づき「利根沼田一般廃棄物処理広域化施設整備協議会」を設置し、利根沼田広域市町村圏振興整備組合において事業推進を行っていく。			

政策分野	(5) 環境・衛生
連携目標	② 火葬場の広域利用
連携事業	1 火葬場の集約化

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内住民の環境衛生の向上と施設の効率化を図るため、個別に運営している水上、新治火葬場のぬまた聖苑への集約化に向けて検討を進める。
------	---



(指標 1) 連携のための検討会議開催回数		現状値 R元年度	1回	目標値 R7年度	1回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
連携のための検討会議開催回数	0回	0回			

目標の達成度 0.0% 0.0%

進捗状況	遅れ
------	----

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	46,809 千円	46,809 千円	46,809 千円	46,809 千円	46,809 千円
実績 (沼田市)	32,954 千円	30,505 千円			
実績 (片品村)	2,973 千円	2,688 千円			
実績 (川場村)	2,466 千円	2,343 千円			
実績 (昭和村)	4,972 千円	4,677 千円			
実績 (みなかみ町)	6,354 千円	5,818 千円			
実績	49,719 千円	46,031 千円	千円	千円	千円
差額	2,910 千円	-778 千円			

◎「火葬場」について

現在、火葬場は沼田市に沼田聖苑（所在地：沼田市上沼須町502番地）があり、みなかみ町には水上火葬場（所在地：みなかみ町湯原990番地2）と泉峰苑（旧：新治火葬場、所在地：みなかみ町須川甲101）がある。
沼田聖苑は、利根沼田広域市町村圏振興整備組合が管理・運営を行っており、圏域内の構成市町村（みなかみ町は旧月夜野町の区域）に住所を置く方の使用料は、構成市町村外の方よりも安くなっている。
集約化について検討中。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	水上、新治の火葬場は修繕をしながら利用を継続しており、今後も活用していく。	水上火葬場及び泉峰苑（旧新治火葬場）を所管する、みなかみ町役場と集約化について協議を行った。当面は両施設ともに活用していく方針であるが、住民ニーズや施設の老朽化の状況により集約化についても検討していく。			
「来年度」以降の取組予定	現時点で集約化の目途は立っていないが、検討を続けていく。	現時点では集約化の目途は立っていないが、みなかみ町との協議を続けて行く。			

政策分野	(6) その他
連携目標	① トレーニング施設の広域利用
連携事業	1 テラス沼田「トレーニングプラザ」の広域利用事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○			○	

事業内容	圏域内住民の健康づくりと介護予防の推進等を目的として、テラス沼田にトレーニングプラザを設置、運営し、広域的な利用を促進する。
------	--



(指標 1) トレーニングプラザ月会員数		現状値 R元年度	273人	目標値 R7年度	500人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
月会員数	314人	335人			

目標の達成度 62.8% 67.0%

進捗状況	やや順調
------	------

(指標 2) トレーニングプラザ年間利用回数 [延べ数]		現状値 R元年度	35,807回	目標値 R7年度	70,000回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
年間利用回数	27,449回	34,151回			

目標の達成度 39.2% 48.8%

進捗状況	やや遅れ
------	------

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	28,804 千円	27,736 千円	27,736 千円	20,091 千円	20,118 千円
実績（沼田市）	28,600 千円	27,500 千円			
実績（片品村）	—	—			
実績（川場村）	—	—			
実績（昭和村）	88 千円	179 千円			
実績（みなかみ町）	—	—			
実績	28,688 千円	27,679 千円	千円	千円	千円
差額	-116 千円	-57 千円			

◎「トレーニングプラザ」について

所在地：沼田市下之町888番地 テラス沼田7階
 トレーニングマシンの利用やスタジオでエクササイズが出来る。
 現在は昭和村と連携し、昭和村の利用者も沼田市内の利用者と同額で利用できる。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	圏域内住民の健康づくりの推進として、昭和村の利用者について、沼田市内の利用者と同額にて施設を利用することが出来た。	圏域内住民の健康づくりの推進として、昭和村の利用者について、昨年度より約3割の利用増加とすることが出来た。			
「来年度」以降の取組予定	昭和村以外の町村とも連携し、圏域内住民の健康づくりを推進する。	昭和村以外の町村とも連携し、圏域内住民の健康づくりを推進する。			

政策分野	(6) その他
連携目標	② 消費生活相談体制の強化
連携事業	1 消費生活センター運営事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内住民の消費生活の安全と安心を確保するため、消費生活センターを設置し、消費生活相談等を受け付けるほか、講習会、講演会等の開催による啓発活動を実施する。
------	---



(指標 1) 相談解決率	現状値		97%		目標値	
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	100%
相談回数 (沼田市の方)	279回	312回				
相談回数 (片品村の方)	13回	11回				
相談回数 (川場村の方)	7回	6回				
相談回数 (昭和村の方)	22回	29回				
相談回数 (みなかみ町の方)	51回	62回				
相談回数 (合計)	372回	420回	回	回	回	回
うち、解決回数	371回	419回				
相談解決率 [%]	99.7%	99.8%				

目標の達成度 [%] 99.7% 99.8%

進捗状況	順調
------	----

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	14,232 千円	14,232 千円	14,232 千円	14,232 千円	14,232 千円
実績（沼田市）	6,797 千円	7,076 千円			
実績（片品村）	581 千円	588 千円			
実績（川場村）	479 千円	490 千円			
実績（昭和村）	865 千円	872 千円			
実績（みなかみ町）	1,932 千円	1,957 千円			
実績	10,654 千円	10,983 千円	千円	千円	千円
差額	-3,578 千円	-3,249 千円			

◎「消費生活センター」について

所在地：沼田市下之町 888 番地 TERRACE 沼田 3 階
 開所時間：平日 9：00～12：00、13：00～16：00（年末年始を除く）
 沼田市消費生活センターは、消費生活全般に関する苦情や相談、問い合わせなどに対し、消費生活相談員 3 名が消費者保護の観点から助言やあっせんなどを行っている。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられた相談に対し、助言やあっせんなどを行った。	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられた相談に対し、助言やあっせんなどを行った。			
「来年度」以降の取組予定	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられる相談に対し、助言やあっせんなどを行う。	沼田市消費生活センターにおいて、消費者から寄せられる相談に対し、助言やあっせんなどを行う。			

政策分野	(1) 地域公共交通
連携目標	① 地域公共交通の維持確保と利用促進
連携事業	1 地域公共交通対策事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域住民の交通手段の維持・確保のため、地域内における公共交通の課題解決に向けて調査・研究を行うとともに、地域間の交通ネットワークを整備し、委託路線バスの運行補助等を行う。
------	---



(指標 1) 公共交通の年間利用者数 [延べ数]		現状値 R元年度	97,350人	目標値 R7年度	106,000人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
年間利用者数 (沼田市)	37,197人	29,010人			
年間利用者数 (片品村)	6,002人	5,754人			
年間利用者数 (川場村)	32,250人	36,309人			
年間利用者数 (昭和村)	28,444人	25,159人			
年間利用者数 (みなかみ町)	—	—			
年間利用者数 (合計)	103,893人	96,232人			

目標の達成度 98.0% 90.8%

進捗状況	順調
------	----

(指標 2) 担当者会議の開催		現状値 R元年度	0回	目標値 R7年度	1回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
担当者会議の開催	0回	1回			

目標の達成度 0.0% 100.0%

進捗状況	順調
------	----

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	112,750 千円	112,800 千円	113,000 千円	113,500 千円	114,000 千円
実績（沼田市）	81,759 千円	83,301 千円			
実績（片品村）	15,554 千円	18,013 千円			
実績（川場村）	14,976 千円	15,201 千円			
実績（昭和村）	27,978 千円	28,578 千円			
実績（みなかみ町）	—	—			
実績	140,267 千円	145,093 千円	千円	千円	千円

差額 27,517 千円 32,293 千円

◎「地域公共交通」について

市町村が運行し、かつ、自治体間を運行する路線バス（川場村運行路線、昭和村運行路線）に対し、経由する自治体（沼田市）が運行費の一部負担をしている。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	川場村路線及び昭和村路線の運行を継続した。	市内を運行する他自治体の委託路線について、割合に応じ負担金を支払い、運行を継続している。			
「来年度」以降の取組予定	担当省会議を開催し、圏域での交通ネットワークの形成を検討する。	担当省会議を継続して開催し、圏域での交通ネットワークの形成を図る。			

政策分野	(2) 交流移住
連携目標	① 移住・定住の促進
連携事業	1 移住・定住促進事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域自治体が連携して、移住希望者が必要とする情報及び支援を把握し、ニーズに合わせたサポートを行うとともに、相談会や体験会などを実施する。
------	--



(指標 1) 圏域合同移住イベント開催回数		現状値 R元年度	0回	目標値 R7年度	5回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
圏域合同移住イベント開催回数	1回	1回			

目標の達成度 20.0% 20.0%

進捗状況	遅れ
------	----

(指標 2) 移住者数		現状値 R元年度	51人	目標値 R7年度	50人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
移住者数 (沼田市)	4人	19人			
移住者数 (片品村)	8人	3人			
移住者数 (川場村)	27人	24人			
移住者数 (昭和村)	10人	17人			
移住者数 (みなかみ町)	64人	46人			
合計	113人	109人			

目標の達成度 226.0% 218.0%

進捗状況	順調
------	----

事業費

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	18,074 千円	18,074 千円	18,074 千円	18,074 千円	18,074 千円
実績 (沼田市)	2,904 千円	4,655 千円			
実績 (片品村)	668 千円	585 千円			
実績 (川場村)	573 千円	6,198 千円			
実績 (昭和村)	670 千円	868 千円			
実績 (みなかみ町)	14,780 千円	40,085 千円			
実績	19,595 千円	52,391 千円	千円	千円	千円

差額 1,521 千円 34,317 千円

◎「移住・定住促進事業」について

移住希望者が必要とする情報及び支援を把握し、ニーズに合わせたサポートを行うとともに、相談会や体験会などを実施することで、移住の支援を行っている。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	<p>利根沼田行政 県税事務所主 権によるみな かみ町と合同 のオンライン セミナー「群 馬県オンライ ン移住セミ ナー・ぐんま のてっぺん！ 利根沼田地域 移住者が教え る絶品地元メ シ！」を実施 し、43名の 視聴者のうち 39名がアン ケートに回 答。食を通じ た利根沼田の 魅力を伝える ことができ た。</p>	<p>みなかみ町と の合同セミ ナーを開催 し、最大40 名の視聴者が 参加したこと をはじめ、都 内の移住相談 への参加や、 トライアルハ ウス利用者7 2名などへの 移住コンシェ ルジュによる アテンドや相 談を実施し、 年間125組 の相談対応を 行った。</p>			
「来年度」以降の取組予定	<p>市単独で行う よりも、広域 で行う方が対 象が増えるこ とと、コロナ による感染症 対策でのオン ライン配信の ため、個別の 面談より参加 し易かったと 思われるため 、今後も参加 していきたい。</p>	<p>セミナーにつ いては、市単 独で行うより も、広域で行 う方が対象者 が増えること と、ネット配 信のため個別 の面談より参 加し易かった と思われるた め、今後も実 施していくと 共にコロナ後 の首都圏での 移住相談にも 参加していき たい。</p>			

政策分野	(1) 人材の育成
連携目標	① 圏域内自治体職員の交流・合同研修
連携事業	1 合同研修事業

連携自治体	沼田市	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町
	○	○	○	○	○

事業内容	圏域内自治体職員の能力及び資質の向上を図り、組織の活性化と職員を育成するため、合同で研修会等を実施する。
------	--

(指標 1) 研修実施回数	現状値 R元年度	0回	目標値 R7年度	3回
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
研修実施回数	0回	1回		

目標の達成度 0.0% 33.3%

進捗状況	やや遅れ
------	------

(指標 2) 交流研修参加職員数 [延べ数]	現状値 R元年度	0人	目標値 R7年度	285人
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
参加職員数 (沼田市)	0人	32人		
参加職員数 (片品村)	0人	5人		
参加職員数 (川場村)	0人	2人		
参加職員数 (昭和村)	0人	6人		
参加職員数 (みなかみ町)	0人	6人		
参加職員数 (合計)	0人	51人	人	人

目標の達成度 0.0% 17.9%

進捗状況	遅れ
------	----

事業費					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見込	60 千円	120 千円	120 千円	320 千円	320 千円
実績（沼田市）	0千円	36千円			
実績（片品村）	0千円	5千円			
実績（川場村）	0千円	2千円			
実績（昭和村）	0千円	6千円			
実績（みなかみ町）	0千円	6千円			
実績	0千円	55 千円	千円	千円	千円
差額	-60 千円	-65 千円			

◎「合同研修」について

自治体間の事業連携の機会を創出することにより、職員が各自治体の優れた知見を習得し、相互に啓発しあうことで多様化、複雑化及び深化する住民サービスに対応できるようにする。
また、人的ネットワークの拡大を図る。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「本年度」の成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく研修を中止とした。	圏域内の新規採用職員が合同研修でグループワークに取り組むことにより、交流を図ることができた。			
「来年度」以降の取組予定	研修テーマの検討を進めつつ、各種研修事業を実施する。	研修テーマの検討を進めつつ、各種研修事業を実施する。			

進捗状況がCまたはDとなった事業について

調査票	事業	指標（進捗に遅れがあるもの）	進捗状況	今後の方向性
3	地域子育て支援拠点事業	（指標1）利用者数〔延べ数〕 沼田市の「子ども広場」、 「チャイルドハウスめぐみ」、 「沼田幼稚園子育て支援センター」の3施設の利用者数	C	絵本の読み聞かせや親子ピクス等体験プログラムの実施も増えてきたので、必要な感染対策等は継続しながらも、より多く実施できるように促していきたい。
4	ファミリー・サポート・センター事業	（指標1）利用者数〔延べ数〕 沼田市のファミリーサポートセンターの利用人数	C	新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、改めて事業の周知を図るとともに、会員のスキルアップ講座を積極的に開催したい。
13	火葬場の集約化	（指標1）連携のための検討会議開催回数	D	現時点では水上、新治の火葬場は当面は活用していく方針であるが、住民ニーズや施設の老朽化の状況による集約化について、みなかみ町との協議を続けて行く。
14	テラス沼田「トレーニングプラザ」の広域利用事業	（指標2）トレーニングプラザ年間利用回数〔延べ数〕	C	昭和村以外の町村とも連携し、圏域内住民の健康づくりを推進する。
18	合同研修事業	（指標1）研修実施回数及び （指標2）交流研修参加職員数〔延べ数〕	C	研修テーマの検討を進めつつ、各種研修事業を実施する。